

2020年3月期 第3四半期決算説明における質疑応答の概要

(2020年2月4日(火)、東京)

【加工食品】

Q. 通期の営業利益は据え置きということは、第4四半期単独では前年同期比マイナス11億円となる見通しだが、主な要因は何か。

A. 主に減価償却費や環境対応費用の増加のほか、事業拡大に向けた戦略的な費用を見込んでいる。また、前期の第4四半期は広告費を絞り込んだが、今期はさらなる需要の喚起やブランド強化に向けたプロモーションを予定しており、広告費の増加も見込んでいる。

Q. 通期営業利益の見通しを3億円上方修正した理由を教えてください。

A. 2Q時点で下期は「関係会社の業績影響額」でマイナス7億円を見込んでいたが、タイにおいて生産性の改善が計画以上に進んだことなどからマイナス幅が縮小したことや、設備投資の遅れにより減価償却費が想定よりも減少する見込みであることから、今回上方修正をした。

Q. 第3四半期単独で家庭用調理品の売上が前年同期比で8%の増収だが、要因を教えてください。

A. 家庭用冷凍食品市場は、前期第3四半期単独はマイナス0.5%と低迷したが、当期は3.5%の伸びと回復した。引き続き主力カテゴリの販売強化を進めた結果、米飯類では、「本格炒め炒飯」などが伸びたほか、「具材たっぷり五目炒飯」や「チキンライス」が好評で、米飯類全体では第3四半期単独で15.7%の伸びとなった。チキン加工品では、「特から」に加え、おかずやおつまみなど多様な食シーンで使える新商品の「手羽から」や「ささみソースカツ」が好調に推移した。

Q. 業務用調理品の売上高見通しを下方修正しているが、状況を教えてください。

A. 販売は堅調で増収を確保しているが、計画対比では、新規導入予定の商品が決まらなかったことや、一部の商品の回転が計画に対してやや遅れていることにより、下方修正した。

Q. 新型コロナウイルスの業績への影響について教えてください。

A. 緊急対策本部を設置し、従業員の安全確保を最優先として対応している。影響については現在調査中。中国には自営生産工場やOEM先もあるが規模的には大きくない。日本国内での販売も今のところ大きな影響があるとは見えていない。

【低温物流】

Q. 東京オリンピック・パラリンピックの影響をどう見ているか。また、価格改定の状況を教えてください。

A. 例年第4四半期は在庫水準が低下する傾向にあるが、今期は東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えて東京港湾地区では在庫水準は高い状態を維持しており、その影響は通期見込に織り込んでいる。適正料金の収受については、すでに取り組み始めているが、中計期間中に、車両調達や庫内の作業コスト上昇分を計画通りに実行していくといった状況である。

以上

※当文書は当日の質疑応答内容をすべて記録したのではなく、株式会社ニチレイが編集を加えております。